

管 区 事 務 所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

声明文 辺野古基地建設、特にボーリング調査強行に反対します

内閣総理大臣 小泉純一郎様

私たち日本聖公会は、イエス・キリストによって示された神の愛によって、世界が一つに結ばれ、この地球上に平和が実現することを、日夜祈り求めているものです。

現在、米軍普天間基地代替施設建設のため、名護市辺野古の海底で行なわれているボーリング調査準備作業は、豊かな海を破壊しています。またその作業中には、建設に反対する人々に対する暴力行為も行なわれていると聞いています。

辺野古の海は人々の命と暮らしを守り育む「いのちの海」です。今も多くの人々がこの海を愛し自然と共に生き、この美しい海とその生き物を次の世代にも引き継ぐために、大切に守ろうとしています。

私たちは、神によって創造されたこの世界のすべての自然と命を、慈しみ、尊ぶことが神から与えられた人間の使命であると確信します。そして、その命を脅かし奪い取ろうとする行動に対して反対いたします。「力」によっては、平和は実現しませんし、憎しみと暴力の連鎖を断ち切ることもできません。

今、辺野古ではボーリング準備調査から、本格的なボーリング調査が行なわれようとしていますが、わたしたちはこれに強く反対し、ボーリング調査の中止、また辺野古基地建設計画の白紙撤回を要請します。

2005年4月18日

日本聖公会 正義と平和委員会
委員長 主教 谷 昌二

送付先：内閣総理大臣 小泉純一郎様
防衛施設庁長官 山中昭栄様
那覇防衛施設局
那覇防衛施設局長 西 正典様

管 区 事 務 所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

声明文 辺野古基地建設、特にボーリング調査強行に反対します

防衛施設庁長官 山中昭栄様

私たち日本聖公会は、イエス・キリストによって示された神の愛によって、世界が一つに結ばれ、この地球上に平和が実現することを、日夜祈り求めているものです。

現在、米軍普天間基地代替施設建設のため、名護市辺野古の海底で行なわれているボーリング調査準備作業は、豊かな海を破壊しています。またその作業中には、建設に反対する人々に対する暴力行為も行なわれていると聞いています。

辺野古の海は人々の命と暮らしを守り育む「いのちの海」です。今も多くの人々がこの海を愛し自然と共に生き、この美しい海とその生き物を次の世代にも引き継ぐために、大切に守ろうとしています。

私たちは、神によって創造されたこの世界のすべての自然と命を、慈しみ、尊ぶことが神から与えられた人間の使命であると確信します。そして、その命を脅かし奪い取ろうとする行動に対して反対いたします。「力」によっては、平和は実現しませんし、憎しみと暴力の連鎖を断ち切ることもできません。

今、辺野古ではボーリング準備調査から、本格的なボーリング調査が行なわれようとしています。わたしたちはこれに強く反対し、ボーリング調査の中止、また辺野古基地建設計画の白紙撤回を要請します。

2005年4月18日

日本聖公会 正義と平和委員会
委員長 主教 谷 昌二

送付先：内閣総理大臣 小泉純一郎様
防衛施設庁長官 山中昭栄様
那覇防衛施設局
那覇防衛施設局長 西 正典様

管 区 事 務 所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

声明文 辺野古基地建設、特にボーリング調査強行に反対します

那覇防衛施設局

那覇防衛施設局長 西 正典様

私たち日本聖公会は、イエス・キリストによって示された神の愛によって、世界が一つに結ばれ、この地球上に平和が実現することを、日夜祈り求めているものです。

現在、米軍普天間基地代替施設建設のため、名護市辺野古の海底で行なわれているボーリング調査準備作業は、豊かな海を破壊しています。またその作業中には、建設に反対する人々に対する暴力行為も行なわれていると聞いています。

辺野古の海は人々の命と暮らしを守り育む「いのちの海」です。今も多くの人々がこの海を愛し自然と共に生き、この美しい海とその生き物を次の世代にも引き継ぐために、大切に守ろうとしています。

私たちは、神によって創造されたこの世界のすべての自然と命を、慈しみ、尊ぶことが神から与えられた人間の使命であると確信します。そして、その命を脅かし奪い取ろうとする行動に対して反対いたします。「力」によっては、平和は実現しませんし、憎しみと暴力の連鎖を断ち切ることもできません。

今、辺野古ではボーリング準備調査から、本格的なボーリング調査が行なわれようとしていますが、わたしたちはこれに強く反対し、ボーリング調査の中止、また辺野古基地建設計画の白紙撤回を要請します。

2005年4月18日

日本聖公会 正義と平和委員会
委員長 主教 谷 昌二

送付先：内閣総理大臣 小泉純一郎様

防衛施設庁長官 山中昭栄様

那覇防衛施設局

那覇防衛施設局長 西 正典様